

**遮根シートを利用したトマト栽培における灌水管理が
糖度に及ぼす影響**

松崎朝浩・牛田均・白井英清

高糖度を志向したトマト栽培技術の確立のために、遮根シート(ポリエステルシート)を用いた栽培法の検討を行い、灌水管理と収量・品質の関係について検討した。

1. 収量は灌水量に強く影響され、栽培床幅による影響は僅かであった。
2. 日中やや萎れる程度のごく少量の灌水を毎日行うことにより、第1花房から Brix 糖度で8以上の果実が収穫出来た。
3. 第3花房開花期から摘芯期までの水分管理が同程度なら、その他の時期の水管理に関わらず秀品平均果重の差は僅かで、この時期の灌水量が果実の大きさに最も影響するものと考えられた。
4. 第3花房開花期以降の強度の水ストレスは、著しく秀品平均果重を減少させるため、その必要性はないものと考えられた。